

1～4年次後期・選択

1単位・30時間

【概要・目的】

[医療情報学入門]

2025年問題の克服のため、我が国の医療は「病院完結型医療」から「地域完結型医療」に大きく変貌を遂げようとしている。それに合わせて、医療分野における情報技術の適用範囲も大きく広がっている。本講義では、情報科学の基礎と医療・看護・介護・健康で利用される情報学のトピックスを幅広く取り上げることにより、医療における情報科学の重要性を理解することを目的とする。医療・看護・介護・健康における情報の意味を知り、情報科学が現代の医療・看護に与えた変化と果たしている役割を理解する。

【到達目標】

- 1) 医療分野で利用される情報科学の概要を把握する
 - 2) データから情報や知識を生成する過程と意義を理解する
-

【内容・スケジュール】（内容・順序は変更することがあります）

- 1) 医療情報学概説・情報科学（1）：医療情報学概説、はじめに～情報とは～
 - 2) 情報科学（2）：情報科学の基礎理論
 - 3) 情報科学（3）：ハードウェア、ソフトウェア（表計算ソフト、データベース、他）
 - 4) 情報科学（4）：ネットワーク、インターネット、セキュリティ
 - 5) 情報科学（5）：SNSセキュリティ
 - 6) 情報科学（6）：システム開発、プロジェクトマネジメント
 - 7) 情報科学（7）：著作権、論文の書き方
 - 8) 診療情報学（1）：病院情報システム、医療の標準化
 - 9) 診療情報学（2）：医療の個人情報保護
 - 10) 診療情報学（3）：遠隔医療、地域医療連携、地域包括ケア
 - 11) 診療情報学（4）：パーソナルヘルスレコード（PHR）
 - 12) 生物情報学：ゲノム医療、クリニカルシーケンス、バイオバンク
 - 13) 臨床研究情報学（1）：臨床研究IT入門
 - 14) 臨床研究情報学（2）：臨床研究の信頼性保証
 - 15) 臨床研究情報学（3）：医療ビッグデータ
-

【評価】

講義時間中のレポート(40%)および試験(60%)

【教科書】

【推薦参考図書】

- (1) 日本医療情報学会 編：医療情報 第5版 ―医療情報システム編―，篠原出版新社
 - (2) 上泉和子，太田勝正 編：看護情報管理論，日本看護協会出版会
- その他講義中に随時紹介する。
-

【その他】 e-mail：kyamamo@wakayama-med.ac.jp